

科目番号: 76

分野	専門分野(看護の統合と実践)				
科目名(必修)	臨床判断の基礎				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	8回	開講時期	後期		
テキスト なし					
目的 臨床判断が求められる経験を通じ、気づき・解釈する・反応する・省察するの4つのフェーズを辿ることで自身の課題について明らかにし、臨床判断を行う基礎的能力を養う。					
目標 1. 臨床判断の考え方と構成要素が理解できる。 2. 気づき・解釈する・反応する・考察する過程を辿り、自己の課題に気づくことができる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	臨床判断とは 事例紹介				講義
2	看護計画・行動計画の立案				講義
3	OSCE 実践				演習
4	OSCE デブリーフィング				演習
5	OSCE 実践				演習
6	OSCE デブリーフィング				演習
7	OSCE 実践				演習
8	OSCE デブリーフィング				演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・評価基準					
OSCE60%、レポート40%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 77

分野	専門分野(看護の統合と実践)				
科目名(必修)	看護管理				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	3年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	7回	開講時期	前期		
テキスト 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理(医学書院)					
目的 看護師が良い看護を提供できるよう、円滑な業務遂行のための看護職員や設備、環境の管理のあり方について学ぶ。					
目標 1. 病院組織における看護部門の位置付け、役割、機能を学び、看護をマネジメントできる基礎的能力を身につける。 2. 他職種と協働して医療チームを組み、患者を支える大切さを理解する。 3. 組織の仕組みを知り、質の高いケアを実践するための柔軟性のあるメンバーシップ、リーダーシップを理解する。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	看護とは 看護管理とは、看護覚書き、看護管理、家庭について、小管理について				講義
2	日本の人口構造 社会的費用、封建医療のパラダイムシフト 病院の基本的成り立ち				講義
3	看護サービス提供体制の特徴 看護業務基準 診療情報の伝達と共有 看護記録とは				講義
4	看護管理に伴う基本的役割 人的資源管理 入院基本料と看護配置				講義
5	新人看護職員臨床研修制度について 法律の概要 現任教育				講義
6	各看護単位での看護管理 病棟管理について 勤務表作成演習				講義
7	医療保険制度 診療報酬体系と看護 職務上の危機防止 ストレスマネジメント				講義
8	試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・評価基準 筆記試験100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 78

分野	専門分野(看護の統合と実践)				
科目名(必修)	医療安全				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	3年次	担当講師	実務経験
					医師
講義回数	15回	開講時期	前期		看護師
					認定看護師
<p>テキスト</p> <p>系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[2] 医療安全(医学書院)</p>					
<p>目的</p> <p>看護職として医療安全に対する認識を高めることをねらいとする。</p>					
<p>目標</p> <p>1. 医療安全に関する基礎的知識が理解できる。                  2. 事例検討を通し、事故が起きる要因と事故防止を考えることができる。                  3. 自己の傾向(思考・判断・行動)を知り、対策を考えることができる。</p>					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	事故防止の考え方				講義
2	業務領域をこえて共通する間違いと発生要因				講義
3	医療安全とコミュニケーション				講義
4	組織的な安全管理体制				講義
5	医療安全の国内外の潮流				講義
6	医療安全統計 医療安全文化の醸成 インシデント・アクシデントレポート				講義
7	患者間違い、医療安全とコミュニケーション				講義
8	問題分析法				講義
9	診療の補助の事故防止 患者に投与する業務における事故防止(注射)				講義
10	診療の補助の事故防止 患者に投与する業務における事故防止(内服・輸血)				講義
11	療養上の世話における事故(転倒・転落)				演習
12	療養上の世話における(転倒・転落) インシデント分析				演習
13	感染管理の実際 (感染を取り巻く状況と対策、院内の組織、管理活動の実際)				講義
14	感染管理の実際 (感染を取り巻く状況と対策、院内の組織、管理活動の実際)				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
筆記試験100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 79

分野	専門分野(看護の統合と実践)				
科目名(必修)	災害看護・国際看護				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	3年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	7回	開講時期	前期		
テキスト					
系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学(医学書院)					
目的					
災害時における看護の役割と対応の基礎、医療・看護の国際協力と看護活動について学ぶ。					
目標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害体制と災害救助活動の概要が理解できる。</li> <li>2. 災害各期の看護活動を理解できる。</li> <li>3. 災害時のトリアージと救急処置について演習を通して理解できる。</li> <li>4. 世界の保健医療福祉の現状が理解でき、問題点を考えることができる。</li> </ol>					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	災害の定義、災害の種類、災害サイクル、災害時期別健康問題				講義
2	災害看護の定義と役割、災害サイクルと災害サイクル別看護活動				講義
3	トリアージの基本と方法、救命・救急状態にある対象の理解				講義
4	災害看護の実際(トリアージ・救急処置)				演習
5	災害看護の実際(トリアージ・救急処置)				演習
6	世界の国際看護・国際協力の現状				講義
7	国際協力の課題				演習
8	試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・評価基準					
筆記試験50%、演習・グループワーク50%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					
現代社会における日常的な災害を認識し、看護の重要性を自覚した積極的な演習への取り組みを期待する。					

科目番号: 80

分野	専門分野(看護の統合と実践)				
科目名(必修)	看護研究				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	3年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	15回	開講時期	前期		
<p>テキスト</p> <p>系統看護学講座 別巻 看護研究(医学書院)</p> <p>はじめてでも迷わない! 看護のためのケーススタディ(医学書院)</p>					
<p>目的</p> <p>事例研究を通して文献の活用方法を学び、論理的思考を高める。看護研究の基礎的知識・技術を身につけ自己を研鑽する態度</p>					
<p>目標</p> <p>1. 研究の実際を学び、研究活動を通じて事例研究の基礎的知識を身につけることができる。</p> <p>2. 実習の事例からテーマを決定し、看護研究論文としてまとめて発表することができる。</p> <p>3. 研究をまとめる過程を通じて自己の看護観を深める事ができる。</p>					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	事例研究の意義				講義
2	クリティーク				講義・演習
3	研究計画相談				演習
4	研究相談				演習
5	研究相談				演習
6	研究発表の方法				講義
7	研究発表方法相談				演習
8	研究発表(口演)				演習
9	研究発表(口演)				演習
10	研究発表(口演)				演習
11	研究発表(口演)				演習
12	研究発表(口演)				演習
13	研究発表(口演)				演習
14	研究発表(口演)				演習
15	まとめ				講義・演習
評価方法・評価基準					
事例研究論文と研究発表を総合的に評価したものを100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 81

分野	専門分野(看護の統合と実践)				
科目名(必修)	看護統合演習				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	3年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	15回	開講時期	前期		
テキスト					
系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理(医学書院)					
系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[2] 医療安全(医学書院)					
目的					
チームで複数患者への看護を実践し、複数患者への看護実践を行ううえでの優先度の判断や公平性、チーム内での協働を行う上で必要な視点と能力について考え、自己の課題を明確にすることができる。					
目標					
1. 患者の病態生理、治療、処置、看護を学習し、看護技術の方法の根拠、留意点を明確にできる。					
2. 複数患者に対し、患者状況に応じて優先度に基づき行動計画(看護計画)の立案、変更および必要な実施が安全にできる。					
3. メンバーシップ、リーダーシップを発揮し、チームで連携ができる。					
4. 自分自身の行動を振り返り、自己の課題を明確にすることができる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション				講義
2	病態生理、治療・処置、看護の学習				演習
3	病態生理、治療・処置、看護の学習				演習
4	各患者の病態生理、治療、看護の発表				演習
5	マルチタスクの優先度判断や公平性について				講義
6	筆記試験・まとめ				講義
7	看護計画、行動計画の立案				演習
8	技術演習				演習
9	技術演習				演習
10	実技演習、デブリーフィング				演習
11	実技演習、デブリーフィング				演習
12	実技演習、デブリーフィング				演習
13	実技演習、デブリーフィング				演習
14	実技演習、デブリーフィング				演習
15	実技演習、デブリーフィング				演習
評価方法・評価基準					
筆記試験30%、看護実践、疾患理解、出席態度・出席時間を総合的に評価したものを70%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					